

事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和5年 3 月 28 日

事業所名 わくわくスクールふじみ野校

職員数 9 回収数 9 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	事業所としての改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	入口に段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			モニタリングをする前に、現場で教えて下さっている先生方にヒアリングして、面談後の内容も周知するようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケート集計後、1つ1つご意向を確認して改善策を話し合うようにしている。アンケートのフィードバックを行うように心がけている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県等で行われている研修への声がけと、年2回職員の研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談で保護者のお話を伺い、ニーズと課題が異なる時は客観的に判断して、今必要な支援になるように作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			視覚化することで、状況をより理解しやすくしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			グループワークや土曜日のイベント等を定期的な会議で決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			曜日によってグループワークが異なるのと、マンネリにならないよう、時々変化を持たせるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校のある日と休日や長期休暇とは行う支援に違いがあり、弾力的に支援をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本のプログラムは押さえつつも、子どもの特性や学年等に応じて、組み合わせて計画を作成するようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			当日はもとより、前日までに保護者から伺った注意すべき点や配慮すべき点を、職員間で共有するために、支援開始前に打ち合わせをしている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			出来ない時もあるが、一日様子を見た方が望ましい場合は、敢えて行うのを見合わせることもある。すぐ共有すべきことは、その日のうちに振り返りを行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			どのような支援を行ったのか分かるよう1人1人記録し、内容を把握して適宜検証している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングはもとより、必要とあれば随時面談を行い、お子様にとっての支援になるよう保護者と連絡を取っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		各学校と学期ごとに連絡を取り合い、情報交換を行っている。送迎時には、その日のお子様の様子はもちろんの事、悩み事等を尋ねるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在該当する生徒がいらないため行ってはいませんが、今後卒業し他の事業所へ移行する時には、保護者に提供する旨をご理解して頂いた上で、状況を提供したいと思う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修を受けられる時は受けられるように努力している。専任だけでなく、希望する者は受けられる雰囲気や大事にしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者のお迎え時、あるいは送迎時に状況説明を行っているのと、発育についての疑問や課題についても相談に乗り助言をさせて頂いている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ペアレント・トレーニングの直接の支援というよりは、講座の紹介をしている。発達障害者総合支援センター等から届く研修の紙を配布し、お伝えするようにしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約をする段階で、各項目ごとに分けて説明をして理解して頂けるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的なモニタリング以外でも、相談支援を来所でも電話でも行っている。主訴を見抜きアドバイスを行いながら、保護者自身が解決の糸口を見い出せる支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	昨年同様コロナ禍ということもあり、実施には至っていないが、今後は少しでも実施出来ればと思う。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			基本的に対応すべき担当を設け、まずは情報を吸い上げている。かつ聞き取りとして保護者にもお聞きして、速めに対応するようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月子どもと保護者向けに、わくわく通信を発行し、イベントの内容や、子どもたちの様子等をお伝えしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			家庭環境や障害の特性に応じて、伝え方を変えて理解しやすい配慮を心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			昨年はふじみ野市や富士見市のマジックサークルを招いたり童謡サークルのコンサートに招かれたり、地域の人々との交流をはかることは出来た。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			決められている回数は実施している。実際に避難場所に行く訓練も行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			会議を実施したり、参加出来なかった場合には、資料を配布している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			全子ども対象ではないが、身体拘束を行わざるを得ない時をご説明している。現在身体を拘束する状況が見られないので、説明だけに留めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用を開始する際には、必ずアレルギーの有無を確認してから、食べ物を提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
合計数			33	4	6	